

地域の特性を活かした自転車イベント立ち上げ事業

取組に至る背景・事業の目的

大北地域での1,000人規模の自転車イベントを目指し、平成24年度に「北アルプス山麓グランフォンド実行委員会」を結成した。設定コース上の4市町村の協力を得て、平成24年度の第1回大会は400人、平成25年度の第2回大会は約630名の参加者を得た。

市街地イベントとの連携や、コース上のエイドステーションでのおもてなしを通じて、地域色のあるイベントとして認知されはじめたことから、平成26年度から大北5市町村にコース設定を拡大、地域の魅力を広く発信し、経済波及効果を有する特徴ある自転車イベントを造成することを目的として活動している。

事業内容

- ・ 本事業ではイベント立ち上げに係る告知（ホームページ作成、ウェブ雑誌等掲載）、備品作成（コース看板、パネル等）、地域連携（シャトルバス運行）を行った。
- ・ 前日の街中イベントや宿泊施設との連携も含め、60余の地元団体の協力を仰ぎ、自転車イベントの事前案内に地域情報を同封するなど、地域一体での魅力発信とおもてなしに努め、地域のファンづくりを目指す取組みを併せて行った結果、北アルプス山麓グランフォンドと題し立ち上げたファンライドイベントへの参加者は650人にのぼった。



【山麓ライドを満喫する参加者たち】

事業効果

- ・ イベント前日に開催された街中イベントとの連携や地元宿泊施設との連携が効果的に展開された結果、域外からの集客数が増加し、参加者の県外比率は81%に上った。地域特有の自然景観を活かした特徴あるイベントが、地元への経済効果の創出に波及した。
- ・ 自転車イベントの開催に併せて、60余の地元団体が物品提供やボランティア、宿泊特典等に携わったことで、広域にわたり、丁寧で地元らしいおもてなしができた。イベントへの協力団体も年々増えてきている。
- ・ アンケート結果から、自転車イベント参加者の91%が満足度を感じ、同79%が来年も参加したいと回答しており、地域のファンづくりにつながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・ 全体としてイベント参加者は増加したものの、女性やファミリー層の参加割合が減少した。理由として自転車コースの勾配が比較的大きなコース設定だったことが考えられることから、平坦なコース設定を取り入れるなど、女性やファミリー層が参加しやすいコース設定を検討したい。
- ・ 地元企業や商店との連携をさらに拡大して、事前告知やエイドステーションにおける地域の魅力発信や滞在中の飲食案内及び土産物販売に結び付けるなど、リピーターやファンを増やし、経済波及効果のある地域イベントとして定着させていきたい。

【選定のポイント】

地域特性を活かした自転車大会を地元関係者との緊密な連携のもとに展開し、地域の魅力発信・ファン獲得に結び付くイベントとして定着しつつある。

団体名	北アルプス山麓グランフォンド実行委員会 (大町市)	事業タイプ	ソフト事業
メールアドレス	info@sanroku-ride.com	事業費	1,659,744円
		支援金額	1,242,000円